

# 宇都宮大学地域デザイン科学部（平成28年度設置）

－文理融合により 地域の強みを活かしたまちづくりを支える人づくり－

## 学部全体像

理念	<p><b>地域の持続的な発展に関する教育・研究・地域貢献を推進することによって、豊かな生活の実現に貢献する</b></p>
設置の必要性	<p>○<b>地域の変容と新しい課題</b>                  ◇広域化や少子高齢化などに対応した社会制度，まちづくり，防災・減災など，複合化した地域課題に対応できる人材が求められている                  ◇今後のまちづくりでは，ハードとソフトのつながり（地域に適合した最適な組み合わせ）をどのように構築するかが求められている</p> <p>○<b>地域社会からの強い要望</b>                  ◇総合的な観点からまちづくりを進める必要性が高まっており，それらを支える知識・スキルを備えた専門職業人が求められている</p>
設置の優位性	<p>○<b>立地特性</b>                  栃木県は，全国有数の農業地域（酪農，穀類，施設栽培等），日本を代表する内陸型工業地帯，北関東最大の中核市，首都圏のベットタウン地域，日光等日本有数の観光地域，限界集落を含む中山間地域などを有し，多様性に富んだ全国の縮図としての性格を有する</p> <p>○<b>地域課題への取組実績</b>                  ・超高齢社会を支える人材育成事業の実施（大学COC事業），地方自治体からの要請に応じたまちづくりに関する様々な検討や提言を実施</p> <p>○<b>アクティブ・ラーニング教育の実績</b>                  ・アクティブ・ラーニング型授業の積極的導入，ラーニングコモンズの整備，カリキュラムマップの作成など「教育の質保証」に関する取組が高評価→「大学教育加速プログラム（A P）」の採択</p>
教育の特色	<p><b>（1）理系を中心に文理融合した地域系の教育実践</b>                  理系スキルを身につけたコミュニティデザインの専門職業人，社会科学の素養を身につけた建築都市デザインや社会基盤デザインの技術者を養成</p> <p><b>（2）学部共通で「地域対応力」を養成</b>                  学部に通ずる能力として“地域と向き合う力”，“地域の実態を調査し分析する力”，“地域の課題を解決する力”を養成</p> <p><b>（3）専門科目のアクティブ・ラーニング化（100%）と全学への波及</b>                  専門科目を全てアクティブ・ラーニング科目として実施→第3期目標・計画期間中に全学の全ての科目をアクティブ・ラーニング科目化（A Pプログラムの拡充）</p> <p><b>（4）地域連携，学科混成による「地域プロジェクト演習」の必修化</b>                  地方自治体，民間企業等と連携し，3学科混成学生グループ（5名）によるフィールドにおける専門分野からの調査・分析，それらの議論と実践的な協働</p>
育成人材	<p>○<b>地域の課題を理解し，各地域の強み（地域資源・地域特性）を活かしたまちづくりを支える専門職業人</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>コミュニティデザイン学科</b>：地域社会を構成する社会集団や制度などをデザインする人材</li> <li>・<b>建築都市デザイン学科</b>：実践的な建築技術を基礎として居住空間をデザインできる人材</li> <li>・<b>社会基盤デザイン学科</b>：実践的な建設技術を基礎として社会基盤をデザインできる人材</li> </ul>

